

3 特殊分類別（財別）鉱工業生産及び生産者製品在庫の動き

1 最終需要財

平成 18 年の県内最終需要財の生産指数は 96.2 で、対前年比 0.2%上昇しました。（表 4）

また、在庫指数は 100.9 で、対前年比 6.3%低下しました。（表 6）

1-1 投資財

平成 18 年の県内投資財の生産指数は 92.2 で対前年比 1.4%低下しました。（表 4）

また、在庫指数は 105.3 で対前年比 7.6%上昇しました。（表 6）

1-1-1 資本財

平成 18 年の県内資本財の生産指数は 100.8 で、対前年比 0.6%低下しました。（表 4）

四半期別にみますと、1 期は 96.4（対前期比 5.0%減）、2 期は 95.7（同 0.7%減）、3 期は 104.2（同 8.9%増）、4 期は 107.8（同 3.5%増）となります。（表 8）

また、在庫指数の年平均は 121.7 で、対前年比 10.2%上昇しました。（表 6）

四半期別にみますと、1 期は 126.6（対前期比 7.7%増）、2 期は 117.4（同 7.3%減）、3 期は 114.3（同 2.6%減）、4 期は 127.2（同 11.3%増）となります。（表 10）

1-1-2 建設財

平成 18 年の県内建設財の生産指数は 82.7 で、対前年比 2.5%低下しました。（表 4）

四半期別にみますと、1 期は 82.9（対前期比 1.5%減）、2 期は 85.0（同 2.5%増）、3 期は 80.9（同 4.8%減）、4 期は 82.4（同 1.9%増）となります。（表 8）

また、在庫指数の年平均は 88.6 で、対前年比 4.1%上昇しました。（表 6）

四半期別にみますと、1 期は 85.9（対前期比 2.6%減）、2 期は 89.0（同 3.6%増）、3 期は 90.9（同 2.1%増）、4 期は 88.7（同 2.4%減）となります。（表 10）

1-2 消費財

平成 17 年の県内消費財の生産指数は 101.0 で、対前年比 2.1%上昇しました。（表 4）

また、在庫指数は 95.8 で、対前年比 19.6%低下しました。（表 6）

1-2-1 耐久消費財

平成 18 年の県内耐久消費財の生産指数は 107.2 で、対前年比 5.2%上昇しました。（表 4）

四半期別にみますと、1 期は 101.3（対前期比 3.5%増）、2 期は 107.5（同 6.1%増）、3 期は 105.9（同 1.5%減）、4 期は 114.0（同 7.6%増）となります。（表 8）

また、在庫指数の年平均は 100.7 で、対前年比 24.8%低下しました。（表 6）

四半期別にみますと、1 期は 114.4（対前期比 21.4%減）、2 期は 80.4（同 29.7%減）、3 期は 80.8（同 0.5%増）、4 期は 107.8（同 33.4%増）となります。（表 10）

1-2-2 非耐久消費財

平成 18 年の県内非耐久消費財の生産指数は 91.6 で、対前年比 3.0%低下しました。(表 4)

四半期別にみますと、1 期は 94.7 (対前期比 4.5%増)、2 期は 90.7 (同 4.2%減)、3 期は 88.9 (同 2.0%減)、4 期は 92.2 (同 3.7%増) となります。(表 8)

また、在庫指数の年平均は 82.8 で、対前年比 3.6%上昇しました。(表 6)

四半期別にみますと、1 期は 82.5 (対前期比 0.5%減)、2 期は 83.8 (同 1.6%増)、3 期は 82.6 (同 1.4%減)、4 期は 82.4 (同 0.2%減) となります。(表 10)

2 生産財

平成 18 年の県内生産財の生産指数は 209.3 で、対前年比 26.9%上昇しました。(表 4)

また、在庫指数は 1261.5 で、対前年比 76.1%上昇しました。(表 6)

2-1 鉱工業用生産財

平成 18 年の県内鉱工業用生産財の生産指数は 211.8 で、対前年比 27.3%上昇しました。(表 4)

四半期別にみますと、1 期は 199.4 (対前期比 9.6%増)、2 期は 200.0 (同 0.3%増)、3 期は 217.3 (同 8.7%増)、4 期は 228.6 (同 5.2%増) となります。(表 8)

また、在庫指数の年平均は 1304.2 で、対前年比 76.4%上昇しました。(表 6)

四半期別にみますと、1 期は 977.3 (対前期比 17.9%増)、2 期は 989.7 (同 1.3%増)、3 期は 1308.1 (同 32.2%増)、4 期は 2149.4 (同 64.3%増) となります。(表 10)

2-2 その他用生産財

平成 18 年の県内その他用生産財の生産指数は 79.5 で、対前年比 4.8%低下しました。(表 4)

四半期別にみますと、1 期は 81.3 (対前期比 2.6%減)、2 期は 78.1 (同 3.9%減)、3 期は 79.0 (同 1.2%増)、4 期は 79.8 (同 1.0%増) となります。(表 8)

また、在庫指数の年平均は 66.3 で、対前年比 7.4%低下しました。(表 6)

四半期別にみますと、1 期は 73.0 (対前期比 3.3%減)、2 期は 69.7 (同 4.5%減)、3 期は 72.9 (同 4.6%増)、4 期は 49.2 (同 32.5%減) となります。(表 10)



「季節調整」 とは？

指数には「原指数」と「季節調整済指数」の 2 種類がある事にお気づきでしょうか？

例年、年末年始のある 12 月、1 月、ゴールデンウィークのある 4、5 月、お盆休みのある 8 月は勤務日数が少ない為、生産活動が低下するといわれていますが、本当にそれを生産水準の低下と考えて良いのでしょうか？

鉱工業の生産は、季節的な要因や社会的慣習等により 1 年を周期として変動するので、前月や前四半期との比較を行なう場合には、そのような季節要因をとり除く必要があります。これを「季節調整」といいます。